（様式2） 実行計画管理シート

事業名	149	ごみ減量化対策事業	部・課	環境部	環境総務課 穂谷川清掃工場 東部清掃工場 減量業務室

総合計画との関係	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等		25　ごみを減らし、資源の循環が進むまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		
総合戦略との関係	基本目標		
	施策目標		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	循環型社会の構築に向けたごみの排出抑制策として、一般ごみに含まれる手つかず食品等の抑制に向けた啓発や、紙類等のリサイクルに重点的に取り組む。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要 （目的・内容等）	ごみの発生抑制を図るため、市民・事業者・行政による4R(リフューズ:不要なものを断る、リデュース:ごみになるものを減らす、リユース:繰り返し使う、リサイクル:再生利用する)の取り組みを推進する。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		廃棄物減量等推進員や市民団体、事業者などと連携し、啓発キャンペーンやイベントなどを実施している。 学校・保育所における4R教育を実施し、ごみへの関心を高め、4Rに関する意識啓発を行っている。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・マイボトル・マイカップの持参や食品ロスの削減に向けたキャンペーン等4Rの啓発 ・保育所・幼稚園・小学校における出前講座や、中学校・高校に対する環境教育の実施 ・事業系ごみの搬入検査や事業所への立入指導
	実績（評価）	・「4R」普及・啓発のため、小学校41校・幼稚園等29園に対して、ごみの処理や減量等を学ぶ環境学習を実施した。また、駅前・店頭等において、生ごみの水切りやマイバック・マイボトル持参等のごみ減量啓発キャンペーンを51回(12,942人)実施した。 ・本市が所管する「ひらかた夢工房」の市民ボランティアによる木工・衣類・自転車等の展示・再生販売をはじめ、小中学生によるポスターコンクールの作品展示や、ごみ減量フェアを11月に開催した(来場者数:3,000人)。また、ごみ減量講演会「食品ロスはどうして起きちゃうの？サイエンスクッキングで美味しく・効率よく」を2月に開催した(来場者数:66人)。 ・ 事業系ごみの搬入検査(2回)や事業所への立入指導(28事業所)を実施した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	・排出事業者の分別を徹底する。 ・学校・保育所のみならず、地域での環境学習についても拡充する必要がある。		
今後の対応	・展開検査を年に複数回実施する。 ・キャンペーン等の4Rの啓発については引き続き行う。 ・環境学習について、あらゆる世代が多種多様な機会や場所で分野横断的に受講できる体制を検討する。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中		

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
市民1人当たりのごみの排出量	○		856	853	846				840	g
指標の説明										
ごみの排出量(1日当たり)／人口			市民1人当たりのごみの排出量は減少傾向にある。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	11,601						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）